

大館市政だより

第三十九号 毎月一回発行 大館市役所 発行所秋田県大館市 編集兼発行人 田村正六



燃えない家を！ 不燃都市の建設へ

八月十八日 火魔三たび襲う 中心市街を全焼損害実に四十億

この大火による被災状況は、面積七萬六千二百三十坪、家六千九百九十二棟、非住家六七六(主庫、特殊建築物を含む)住家の半壊二十三棟、罹災世帯八百九、罹災人員四千二百五十八、損害員積四十億二千二百萬圓に上る。

八月十八日夜半(午後十一時五十五分頃)、東大館駅前松本旅館方から出火、火は折柄の西南三メートルの風にあおられ必死の消防も空しく、また、火は風をよび、益々火勢をまし加えて常盤木町を焼くにつれ、これより火の手は二つに分かれ、地獄の業火は、かくやと思われ程、ついに新町、南町、向町方面へ、

八月十八日夜半(午後十一時五十五分頃)、東大館駅前松本旅館方から出火、火は折柄の西南三メートルの風にあおられ必死の消防も空しく、また、火は風をよび、益々火勢をまし加えて常盤木町を焼くにつれ、これより火の手は二つに分かれ、地獄の業火は、かくやと思われ程、ついに新町、南町、向町方面へ、

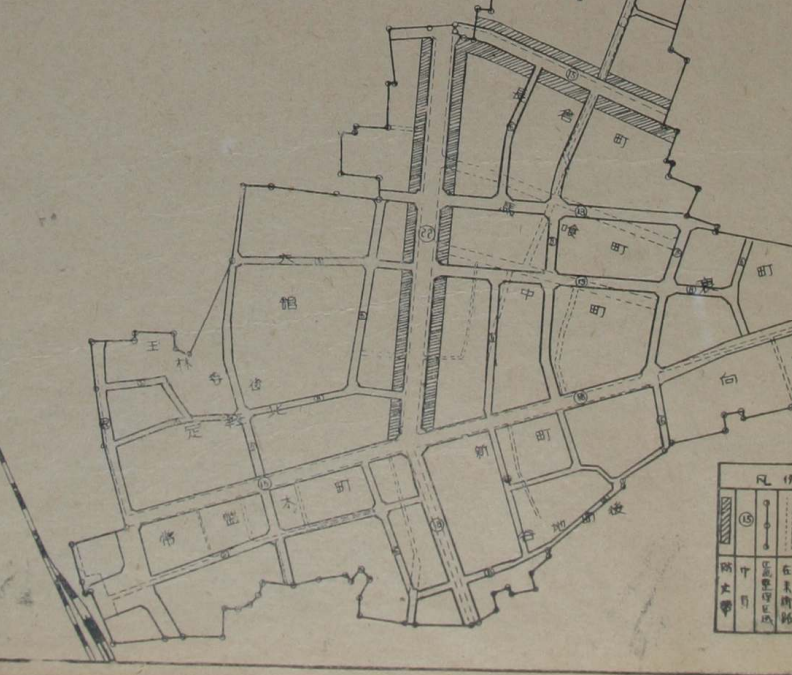
御見舞有難とう 火見舞金 六三八、六二二(三五一件)衣類、調味料、学用品等數十萬点。 による大 六、一三三(八五件)衣類 二十点、米九石二斗七升

不燃大館の建設へ 復興計画のあらまし 市では建設省並びに県からの指導を得、防災都市の形成にも意をもち、焼失地域全部にわたって、土地区画整理事業をおこなうこととし、大要次のような計画の実施に着手してまいります。

①各幹線間は市員六メートル又は八メートルの補助街路を設けて運送を助け、 ②焼失地域内の排水路を検討し出水量の大なる部位については、これを拡大しコンクリート造りとして良好なる排水機能とする。 ③整理区域内には三千坪の公園緑地帯を設け、大昭和路を清掃し周囲に散策道路を設け、樹木を植えて市民の憩いの場とするため、二千三百坪の緑地帯を造成する。

このため市では仮建築では、冬に如何か困難があると思われ、一日も早く電柱、街灯をこの歩道にそえて列せしめ、整然たる都市美の形成をはかる道路の構造はいはれはコンクリート又は鉄筋コン

大館都市計画火災復興事業計画図



凡例 ① 市員六メートル又は八メートルの補助街路 ② 公園緑地帯 ③ 排水路 ④ 樹木 ⑤ 散策道路

★災害復興日誌★ 八月十九日 市災害対策市、対策を協議。市議会本部並びに県災害救助対策委員協議。市議会本部並びに県災害救助対策委員協議。市議会本部並びに県災害救助対策委員協議。市議会本部並びに県災害救助対策委員協議。